

21世紀のライフスタイルを考える 第3回「教育」 5・24教育フォーラムに集まろう!

—子どもたちのストレスを癒し 現代社会の病巣を克服する—

ガラガラにっポン 原 暁美

「感性を生かすホリスティック教育」等多数。

今、教育現場の抱えている様々な問題、いじめ、不登校、自殺、非行などは、戦後半世紀にわたる経済成長を目的として作られた「画一的に知識を詰め込み、知識の量だけで競争する」という学校のシステムについてゆけない子ども達の叫びの様な気がしてなりません。私たち大人はその声をしっかりと受け止め、子どもが本来の人間性を取り戻し、真の幸せを実感できるような社会(家庭・学校・地域)を築いてゆく義務があります。子どもの心の病(ストレス)を取り除くための根本を探ります。

日時: 1997年5月24日(土)

14:00~17:00(開場13:30)

場所: 佼成学園男子校中学校棟地下1階ホール

杉並区和田2-6-29

(地下鉄)丸の内線 方南町下車徒歩8分

(京王バス)永福町行き(中野より)聖堂前下車1分

聖堂前行き(新宿より)聖堂前下車1分

【1部】講演「感性を活かすホリスティック教育」
明星大学教授 高橋史朗氏
「ホリスティック教育が子供を変える
大人を変える」

【2部】ディスカッション(参加者募集中!)
参加予定者: 佼成学園・成城学園・創研学院
(教師と生徒)

子どもと教師と親が対等の立場で意見を交わし、問題点を解決するにはどうしたらいいのか理想の学校、理想の教育を模索してゆく。

●高橋史朗氏略歴: 明星大学教授、ホリスティック教育フォーラム代表、感性教育研究所所長。1950年兵庫県生れ。早稲田大学大学院修了後、スタンフォード大学フーバー研究所客員研究員。臨時教育審議会専門委員、国際学校研究委員会委員等を経て現職。著書に「喜びはいじめを超える」「脱偏差値教育の試み」「悩める子供たちをどう救うか」

- 参加費: 1000円(当日開場にてお支払いください)
- 申込方法: TEL/FAXにてご予約お申し込みください。
その場合、お名前・ご住所、電話番号参加人数をお知らせください。
- 申込先: 21世紀のライフスタイルを考える
梶原光恵 TEL 03-3482-7836 FAX 03-3482-7838
- ディスカッション参加希望者もご連絡ください。
- 主催: 平成維新を実現する都民の会
21世紀のライフスタイルを考える特別委員会
- 協賛: ガラガラにっポン

21世紀のライフスタイルを考える会・第3回 21世紀のライフスタイルを考える特別委員会委員長 梶原光恵

学校が子供たちにとって、楽しい所ではなくなっている…。15年位前から校則が厳しくなったり、体罰が問題化して来ました。その前は「落ちこぼれ」そして「暴力教室」です。詰め込み教育が発端でした。数学・化学・生物と新しい発見がある度に、教科書が厚くなりました。日本史・世界史・美術史・倫理社会とどの科目も表面をなでるだけ、ただの暗記です。県立高校では出来る子と出来ない子をクラス分けして、進学組と就職組と呼んでいました。体のいい切り捨てですが、70年代の高度成長期後は進学希望者が多く、切り捨てられた生徒もふえてしまったんでしょうね。これが「落ちこぼれ」、どうしようもなく腕力をふるうこれが「暴力教室」。始めは教師に向けられていた怒りが、段々成績のいい子や弱い子に向けられとうとう「いじめ」に。

今回は主役である子供たちが今何を考えているのか、子供たちにいたい事を皆喋ってもらう会にしました。日頃の思い憂鬱を晴らしてもらおうと思います。先日何人かと話した結果は、やはり受験と社会への不安でした。大人に任せるだけでなく彼らは自分たちからも発信します。

六角年成都議選候補から推薦依頼がありました

【六角年成氏の推薦理由】

次期都議選で品川区からの立候補を表明している品川区会員の六角年成氏から、都民の会の推薦依頼を受けております。彼は33歳、外資系商社に勤務するサラリーマンですが「さきがけ塾 第一期生」「一新塾 都議養成科」を経て政治ベンチャー「ネクスト」結成に参加、次世代への責任感から政治の世界への挑戦を決意しました。

彼の出馬動機、政策は会報1月号にすでに掲載されていますが、財政問題、教育問題等に対する彼の考え方も都民の会推薦候補とするにふさわしい内容です。既成政党の公認無しのチャレンジは、低投票率、組織票有利の選挙戦では苦戦を強いられることになるでしょう。しかし、これからの都政には、まさに彼のような純粋な情熱を持つ挑戦者が必要だと

思います。六角年成氏を都民の会の推薦候補とすることにつき、皆様のご協力、ご支援を衷心より願います。次第です。

大田区・品川区エリアマネージャー 榑木寸矢口行

日本を国民主権の法治国にしよう。
人類の幸福の向上に貢献出来る事を願って活動する

ハナワ
花和グループ

HANAWA

(有)花和ビル
(株)花和
(有)パステルハウス
(有)葉明